



栃木県看護連盟 新支部長ご挨拶

独協医科大学日光医療センター 原 弘子



今年度、日光支部の支部長を拝命いたしました。昨年までは、幹事長という立場で看護連盟活動をしてきましたが、「たかがいさん」の参院選では、連盟のあり方を理解することができ、また選挙の大変さを実感しました。日光地区の病院を回って連盟活動をしたり、票を集めること

が一番大変だったように思います。しかし、連盟というと“一致団結”“元気”というイメージのとおり、先輩方の気さくな人柄や闘志満々な姿勢に刺激を受け、楽しく仕事をさせて頂くことができました。

支部長としての今後の課題は、「会員に、如何に連盟活動を伝えていくか、確実票を獲るか」だと思います。長い看護の歴史の中で、政治が担った大きな役割、そして私たちの待遇が変わったことを伝えることが大切であり、また、第23回参院選に向けて検討していかなければならない事項もあります。

看護と政治は切り離すことができません。連盟の役割である私たちのベットサイドの声を政界に伝える道筋をつくること、そのためには栃木県の会員を増やし、組織を強化して看護職から国会議員を出すことができるよう頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

獨協支部長 藤井 洋子



今年度、平成23年度日本看護連盟通常総会に参加をさせて頂き、連盟の様々な活動報告と共に高階恵美子参議院議員、あべ俊子衆議院議員の活躍を確認することができました。

その内容に3.11の大震災直後に被災地訪問と物資の救援を行い、現地の方々の要請・要望を伺い、看護職の代表として政策に反映させている報告により、迅速な行動を確認し、代表を国会に誕生させることができた前国政選挙の成果を認識しました。同時に国会の中で様々な委員会への参加や多くの質問などをすることができ、現場のベットサイドからの意見を反映させるには、更に多くの代表を誕生させる必要性を重く受け止めました。

今後の連盟活動の目標として、

- 1) 若い世代から政治に関心を持って、連盟活動への理解が得られる。
- 2) 看護職の様々な環境改善には代表者が必要である意味・成果を広く伝えていく。

上記2目標に対して、栃木県看護連盟・獨協支部役員・会員の方々のご協力を頂きながら一生懸命活動してまいりたいと思っております。

未だ被災されている方々と復興のために活動されている全ての方々のご健康と一刻も早い復興をお祈りいたします。

宇都宮社会保険病院 山口 久美子



この度、支部の再編により7月1日から石橋総合病院と宇都宮社会保険病院がともに活動していくことになりました。そして支部長の大役を仰せつかりました。初めてのことで右往左往しているのが現状ですが、皆さまのご指導をいただきどうにか船出をさせていただきま

す。今までは自施設だけの活動でしたが、同規模の二つの施設で活動することによりそれぞれの施設の特性を活かして、共に連携・協力することによって活動の発展性を期待しています。相互に意見交換し、現状確認を行い具体的に何ができるか検討して協力していければと考えています。専門職として看護連盟の役割と重要性を認識して結果を出せるように、会員の皆さまと目標に向かって地道にできることから行動していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

国際医療福祉大学病院看護部長 土田 佐津子



皆さま、こんにちは。

国際医療福祉大学病院 看護連盟支部長を拝命いたしました。皆さまと共に努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

今、組織（医療・看護）を取り巻く環境には様々な課題があり、看護職の果たす役割はますます増大してきている現状があり、看護管理者の方々には対応に大変苦慮されていると思われ

ます。当院においても、看護職は患者様に最善の看護を提供したいと、日夜を問わず24時間切れ目なく患者さまのベットサイドで一生懸命看護をしている姿を見ると頭が下がる思いであります。

業務を見回すと看護職でなくても良いと思われる業務が多々あり、専門職としての業務を行える環境改善が必要なことは言うまでもありません。看護職が生きいきと誇りを持って動き続けられる組織の環境づくりが、喫緊の責務だと考えております。

今後とも、ご支援、ご協力をお願いいたします。

小山支部支部長 針谷 清子



今年度、小山支部支部長に就任させていただきました。小山支部は、栃木県の南に位置し会員数81名の栃木県看護連盟のなかでも小さい支部の1つです。2005年にリフォーム連盟として支部が発足し連盟スローガンの「ベットサイドから政治を変える」の下、支部活動が開始して7年目になります。私達看護職の労働環境を改善することは、患者さんの療養環境を改善することにも繋がります。改善を実現するためには、看護職の仲間を国政に送り活躍して頂く必要があります。その為には、看護職が一丸となって政治に参加しなければなりません。今後も、近隣の病院・クリニック・施設などに働き掛け、連盟活動の必要性を理解していただき選挙に繋げて行きたいと思っております。小山支部は小さい支部ですが、前支部長の小さい支部の利点を活かした小回りのきく連盟活動を引き継ぎ、これからも活き活きと活動を続けて行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。